

令和7年度

地域管理経営計画等の策定・変更



国民の森林・国有林

令和8年3月
関東森林管理局



説明の内容

I 森林計画制度の概要

II 令和7年度に策定する地域管理経営計画等の概要

III 令和7年度に変更する地域管理経営計画等の概要



I 森林計画制度の概要

森林計画の体系

国有林においてたてる森林計画は、森林法に基づく「国有林の地域別の森林計画」と国有林野の管理経営に関する法律に基づく「地域管理経営計画」及び林野庁長官通知に基づく「国有林野施業実施計画」です。

森林計画の
樹立・変更の手続き

国民からの意見聴取



署長意見書



公告・縦覧



学識経験者からの意見聴取
(森林計画等検討会の開催)



計画の樹立・公表



令和7年度地域管理経営計画等の策定

| 策定する森林計画区 | |
|-----------|------|
| 福島県 | 奥久慈 |
| 栃木県 | 那珂川 |
| 群馬県 | 利根上流 |
| 東京都 | 多摩 |
| 新潟県 | 上越 |
| 静岡県 | 富士 |



(※) 図は国土地理院タイルを加工して作成 (<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

①奥久慈森林計画区

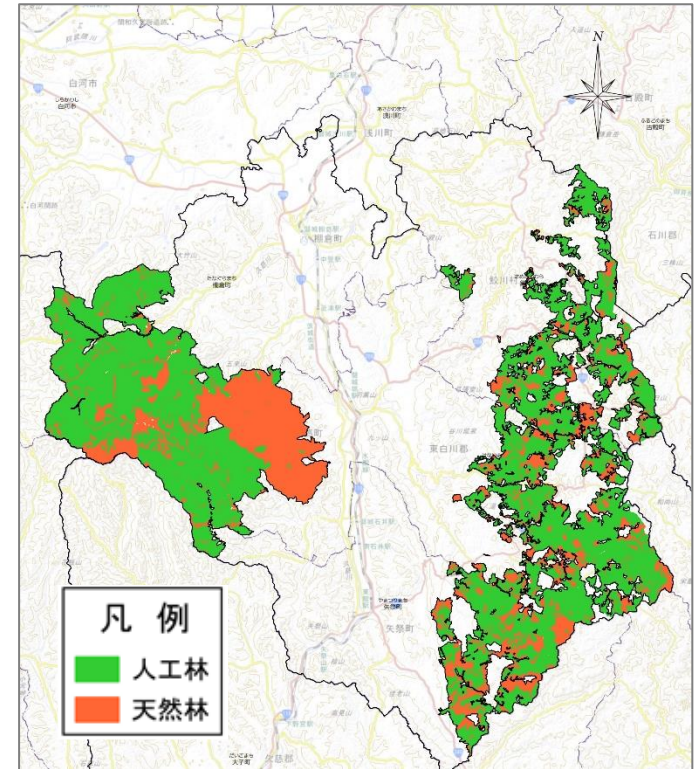
管内有数の優良林業地・人工林の割合が極めて高い

森林計画区の特徴

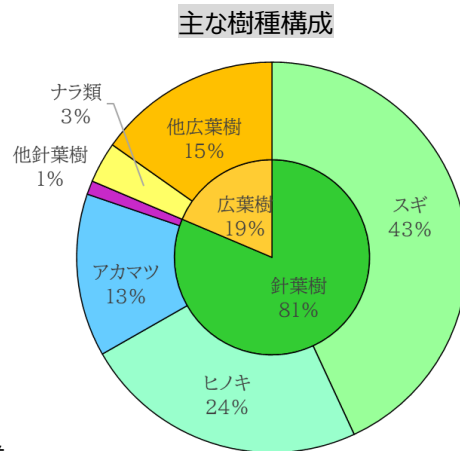
- 約2万2千haの国有林面積のうち、スギ、ヒノキを主とする人工林が67%、コナラ、アカマツを主とする天然林が33%を占める。
- 特に、棚倉町、埴町を中心に「奥久慈林業地」として知られ、スギ材の産地化がなされている。生産される木材は首都圏市場では「奥久慈材」、「八溝材」として知られる。
- 久慈川を境として、東部はなだらかな丘陵地帯の阿武隈高地、西部は起伏に富んだ八溝山地に大別されている。国有林野の19%を水源かん養保安林に指定している。
- 国有林野の10%が奥久慈県立自然公園に指定されている。



計画区の森林の分布状況



伐採面積を抑え、保護樹帯を確保した、林地保全や生物多様性に配慮した施業。



(※) 図は国土地理院タイルを加工して作成 (<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

②那珂川森林計画区

計画区の東部は木材の生産が盛んな人工林地帯
西部は国立公園や保護林などに指定される天然林が分布

森林計画区の特徴

- 約4万1千haの国有林面積のうち、スギ、ヒノキを主とする人工林が34%、コナラ等の二次林を主とする天然林が66%を占める。
- 東部はスギ、ヒノキ主体の優良人工林が多い。 県、森林組合等地域が一体となって「とちぎ八溝材」のブランド化を進めている。
- 西部は那須岳を中心に天然林が広がり、日光国立公園や保護林が存在。 那須岳（那須火山群の総称）は那珂川の源流域に位置する。
- 国有林野の82%を水源かん養保安林に指定している
- 奥那須自然休養林や箒川風景林をはじめとするレクリエーションの森があり、自然観察、ハイキング、スキー等に利用されている。



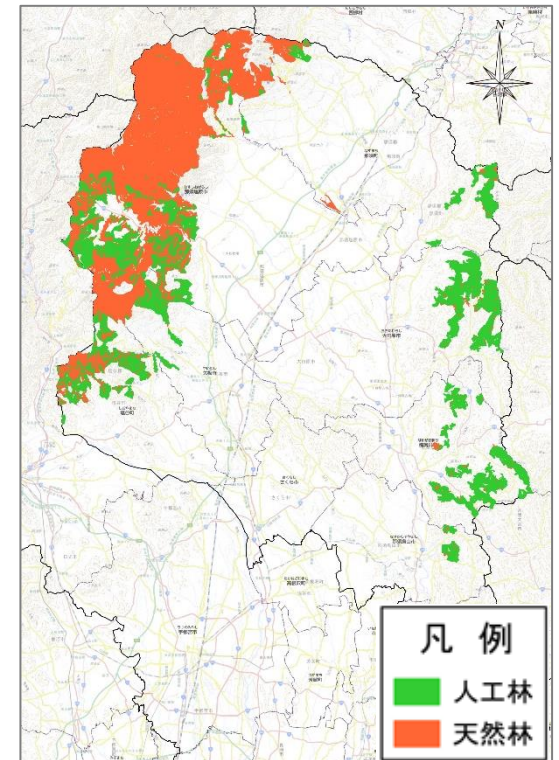
計画区の東側は立木の成長が良く、材の生産が盛ん。



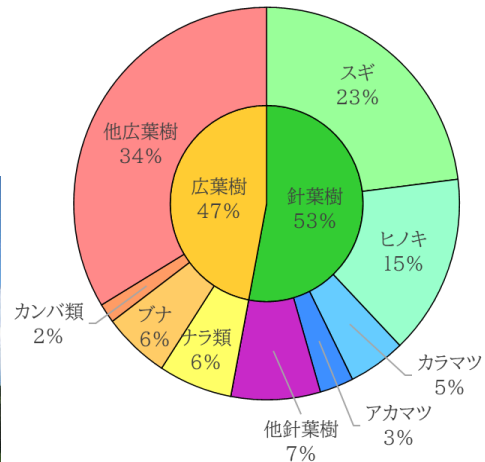
計画区の西側は雄大な自然と貴重な生物資源が多い。
茶臼岳は、ロープウェイを利用し初心者でも上りやすい那須の名峰。



計画区の森林の分布状況



主な樹種構成



(※) 図は国土地理院タイルを加工して作成 (<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

③利根上流森林計画区

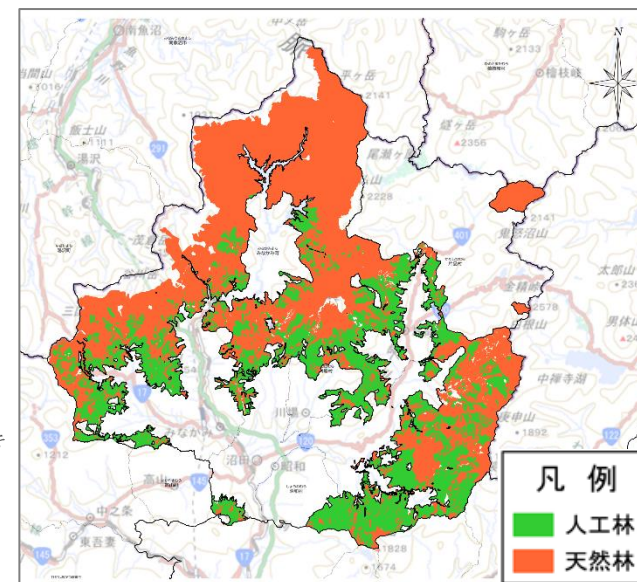
首都圏の水源域に位置する豊かな自然環境
レクリエーションの森、木材生産など多岐にわたる森林の活用

森林計画区の特徴

- 約9万7千haの国有林野面積のうち、カラマツ、スギを主とする人工林が31%、ブナを主とする天然林が69%を占める。
- 国有林野の65%を水源かん養保安林に指定している。天然生林の保存と、人工林の保育や間伐等を推進し、水源域としての機能の維持・増進に努めている。
- 計画区の国有林野には計11か所のスキー場があり、登山や自然観察を始め、森林レクリエーションや保健休養の場となっている。
- みなかみ町に所在する約1万haの国有林野では、生物多様性の復元と持続的な地域づくりの実現を目指して「三国山地／赤谷川・生物多様性復元計画」（赤谷プロジェクト）が進められている。



計画区の森林の分布状況

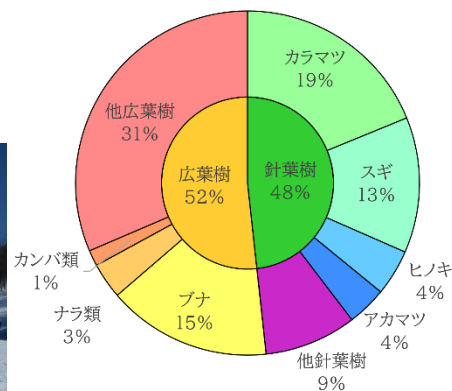


カラマツ人工林での木材生産



玉原スキー場（レクリエーションの森）
群馬県はもとより首都圏からの利用者で賑わっている。

主な樹種構成



(※) 図は国土地理院タイルを加工して作成 (<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

④多摩森林計画区

高尾山一帯の都市近郊林

森林計画区の特徴

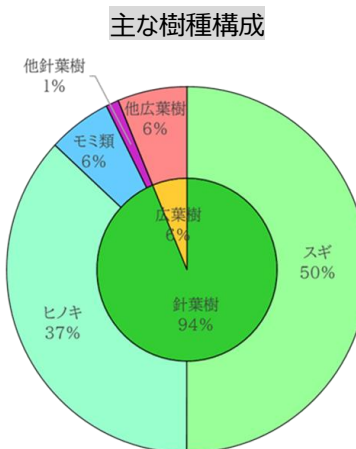
- 約1千haの国有林面積のうち、スギやヒノキを主体とする人工林が81%、その他天然林が19%を占める。
- 国有林野の6割が保健保安林に指定されている都市近郊林であり、登山や自然散策及び保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。
- 高尾山一帯の国有林野は、ほぼ全域が明治の森高尾国定公園、高尾陣馬都立自然公園に指定されており、多種多様な動植物が見られ、野生生物の重要な生育・生息の場となっている。
- 八王子市をはじめとする下流域の水源（水源かん養保安林）になっている。



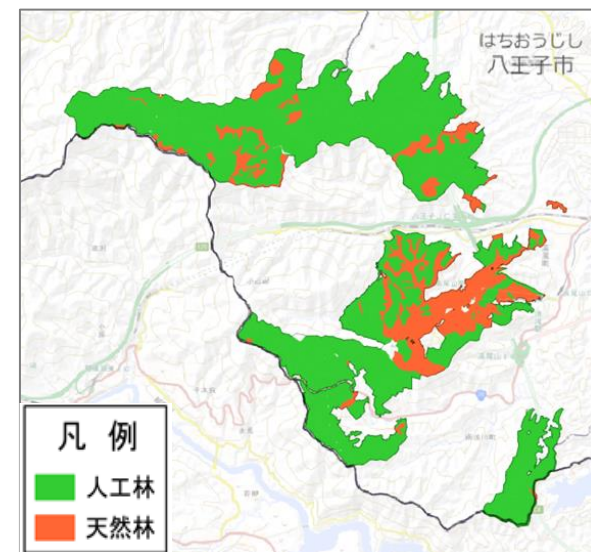
高尾山自然休養林の玄関口、清滝駅前広場



間伐実施前のヒノキ人工林



計画区の森林の分布状況



(※) 図は国土地理院タイルを加工して作成 (<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

⑤ 上越森林計画区

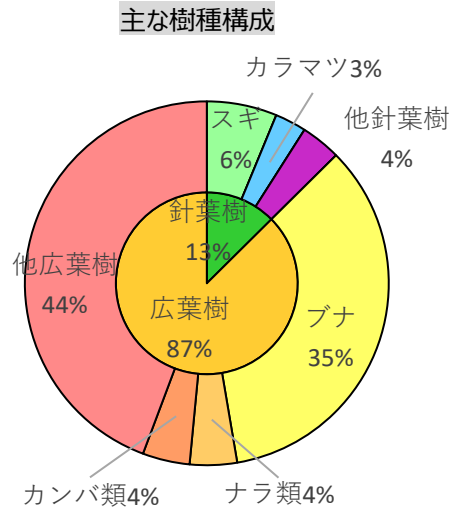
糸魚川静岡構造線上にある急峻な地形や脆弱な地質
管内有数の天然林地帯

森林計画区の特徴

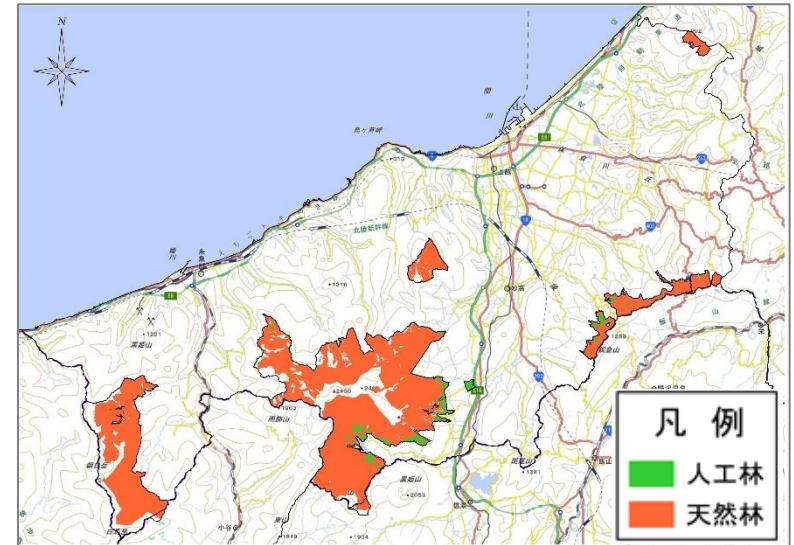
- 約3万6千haの国有林面積のうち、ブナやカンバ類を主とする天然林が97%、スギを主とする人工林が3%を占める。
- 急峻な地形や脆弱な地質に加え、冬季の積雪によって山地災害が発生しやすい地域。深間工や山腹工等の治山事業を実施している。
- ライチョウやホンシャクナゲの生息地があり、希少個体群保護林を設定している。貴重な自然環境等を背景に、国有林野の78%が妙高戸隠連山国立公園等に指定されている。
- 登山やスキー場等、森林レクリエーション利用や保健休養の場として利用されている。
- 国有林野の83%を水源かん養保安林に指定している。



山間奥地の急峻な崩壊地での航空実播工
(糸魚川市 小滝川上流)



計画区の森林の分布状況



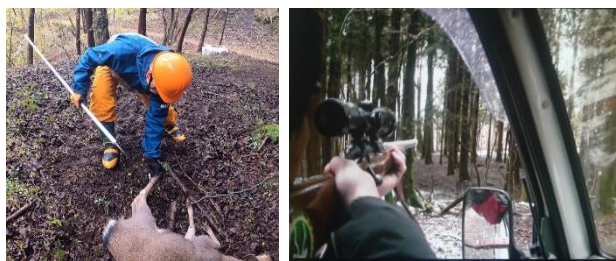
(※) 図は国土地理院タイルを加工して作成 (<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

⑥富士森林計画区

世界文化遺産である富士山の麓
火山帯特有の侵食を受けやすい地質、シカの食害が顕著

森林計画区の特徴

- 約1万7千haの国有林面積のうち、ヒノキ等の人工林が58%を占める。
- 富士川・潤井川等の河川や、白糸の滝等の湧水群の源流域に位置している。国有林の83%を水源かん養保安林に指定している。
- 土壌は主に、富士火山帯の溶岩と噴出物で構成され、降雨等による浸食を受けやすく、治山事業を多く実施している。
- 富士山南麓は、景観が美しく保健休養の利用が多いため、自然休養林に選定されている。
- ニホンジカによる食害が深刻化している。くくり罠等による捕獲、金属柵や単木保護資材による防除及び生息状況の調査に取り組んでいる。

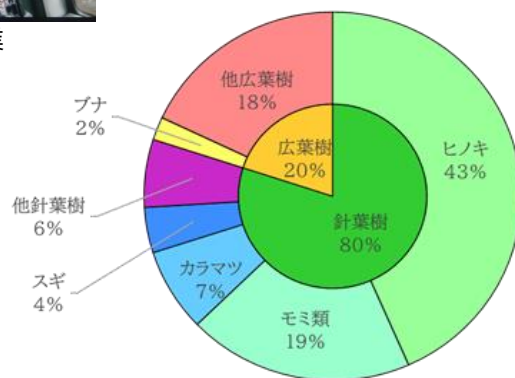


くくり罠やシャープシューティングによるシカ捕獲事業

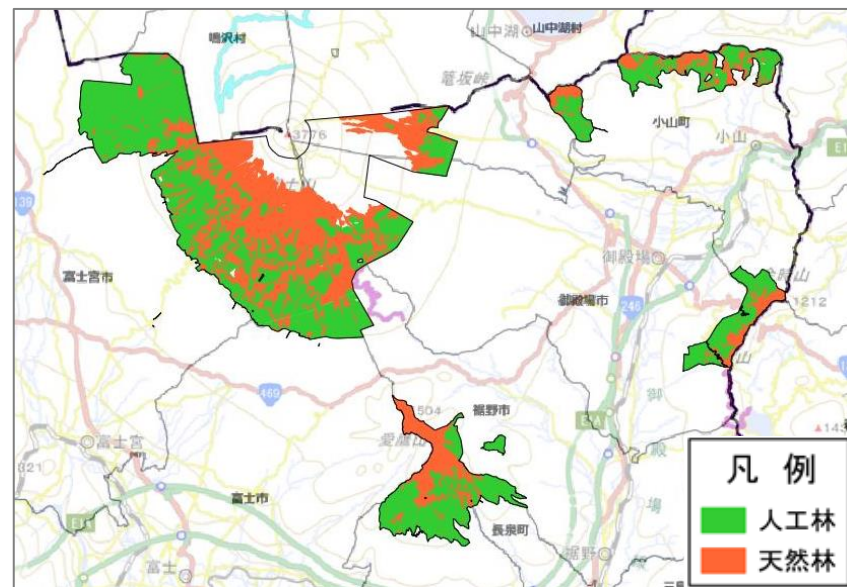


富士山山麓に広がる国有林野と治山事業の様子

主な樹種構成



計画区の森林の分布状況



(※) 図は国土地理院タイルを加工して作成 (<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

Ⅱ 令和7年度に策定する地域管理経営計画等の概要

国有林野の管理経営に関する基本方針



- ・「国民の森林」としての公益重視の管理経営の一層の推進
- ・機能類型区分に応じた森林の適切な整備・保全等による持続可能な森林経営
- ・組織・技術力・資源を活用した、森林・林業施策全体の推進への貢献

【政策課題への対応】

| 視点 | 主な取組目標 |
|--------------------|--|
| 公益重視の管理経営の一層の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林吸収源対策の推進 ・ 花粉発生源対策 ・ 生物多様性の保全 ・ 森林病虫害対策及び鳥獣被害防止対策 ・ 地域の安全・安心を確保する治山対策の展開 |
| 森林・林業施策全体の推進への貢献 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 木材の安定供給 ・ 低コスト施業の推進 ・ 社会経済情勢を踏まえた森林施業等の取組 ・ 民国連携による効率的な森林整備等の推進 |
| 国民の森林としての管理経営 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国民参加の森林づくり ・ 森林とのふれあい |
| 東日本大震災からの復旧・復興への貢献 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林施業の再開 ・ 仮置場等の敷地としての提供 |



生物多様性に配慮して
広葉樹を残した列状間伐
(利根上流)



一貫作業システムによる
低コスト施業の推進
(利根上流)



森林とのふれあい
遊々の森での枝打ち体験
(上越)



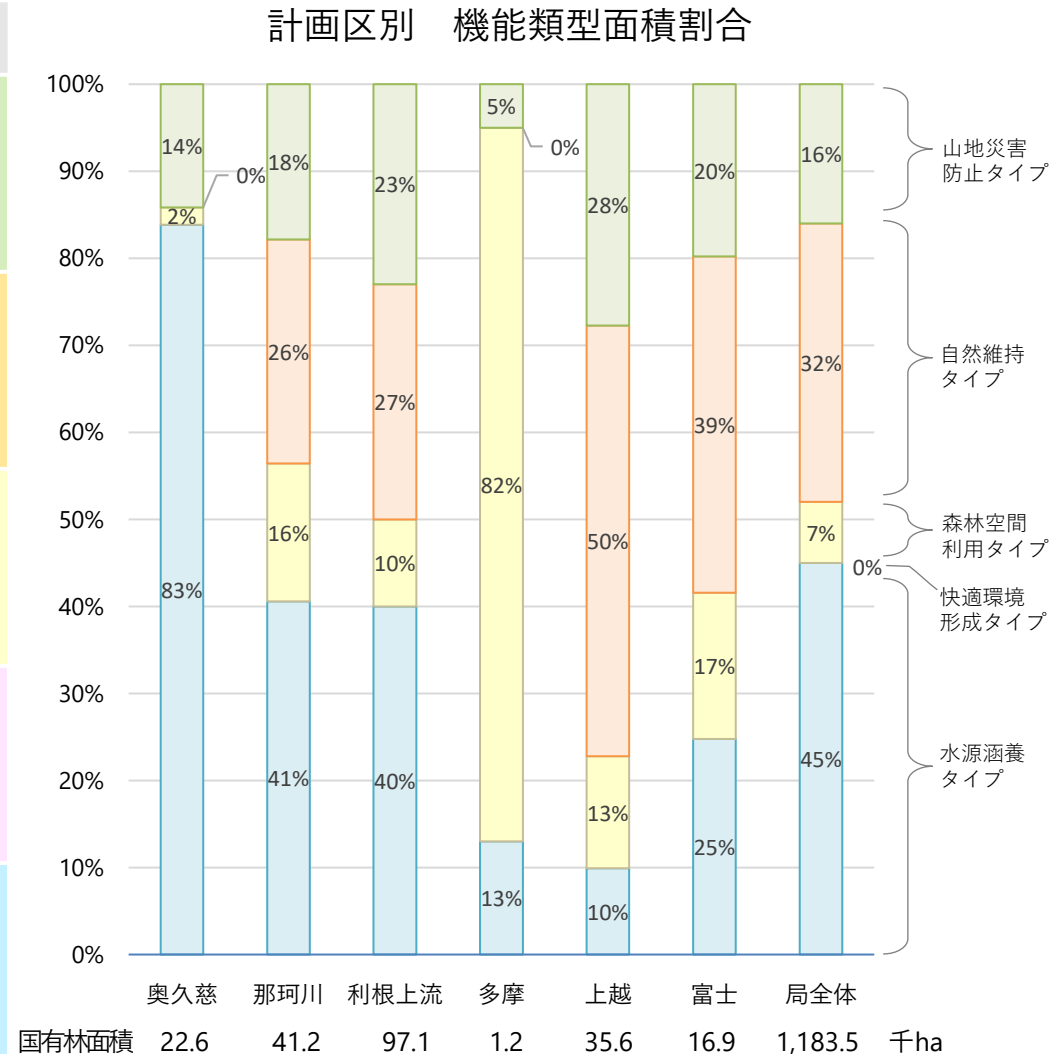
- 1 機能類型に応じた管理経営
- 2 主要事業量
- 3 国有林野の維持及び保存
- 4 林産物の供給
- 5 国民参加の森づくり
- 6 林業技術の開発、指導及び普及

1 機能類型に応じた管理経営①



国有林では、公益重視の管理経営の一層の推進を図るため、国有林野を以下の5つのタイプに区分し、適切かつ効率的に管理経営を行っています。あわせて、これらの区分に応じた適切な施業の結果として得られる木材を計画的に供給することにより、木材等生産機能の発揮を図っています。

| 機能類型 | | |
|--|--|---|
| 山地災害防止タイプ カラサワ国有林 (上越) | | 山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を第一とすべき森林 |
| 自然維持タイプ 谷川岳サワグルミ遺伝資源希少個体群保護林 (利根上流) | | 原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など、属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とすべき森林 |
| 森林空間利用タイプ 高尾山自然休養林 (多摩) | | 保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とすべき森林 |
| 快適環境形成タイプ 今年度樹立計画区に該当無し | | 快適な環境の形成の機能の発揮を第一とすべき森林 |
| 水源涵養タイプ 真名畑・入山国有林 (奥久慈) | | 水源の涵養の機能の発揮を第一とすべき森林 |



1 機能類型に応じた管理経営②



山地災害防止タイプにおける管理経営

「山地災害防止タイプ」については、山地災害による人命、施設等への被害や気象害による環境の悪化に対する防備機能の維持増進を図るため、適切な間伐の実施や長伐期施業、育成複層林へ導くための施業等を推進します。（森林に急激な変化を与えないよう、主伐方法は複層伐、択伐が基本。）

必要に応じて土砂の流出・崩壊を防止する治山施設等が整備されている森林等に誘導します。

【治山施設の整備】

国有林野内直轄治山事業（富士）



スラッシュ雪崩の発生(H30.3)



床固工により復旧(R4.12)

【森林整備の実施】

気象害防備エリアにおいて防備機能の維持増進を図るための列状間伐を実施。



【新計画における機能類型区分の見直し】

林野庁が定めた調査要領に基づき、**山地災害危険地区**に判定された箇所

- ・山腹崩壊危険地区
- ・地すべり危険地区
- ・崩壊土砂流出危険地区

都道府県知事が**土砂災害警戒区域**に指定した箇所

- ・土石流
- ・地すべり
- ・急傾斜地の崩壊



山地災害防止タイプへ変更

山地災害防止タイプの変更面積（策定する6森林計画区の合計）

| | 現計画 | 新計画 | 増減(ha) |
|---------|--------|--------|--------|
| 面積(ha) | 31,632 | 45,636 | 14,004 |
| [割合(%)] | [15%] | [21%] | |

※割合は森林計画区の国有林野全体に対するもの。

1 機能類型に応じた管理経営③



自然維持タイプにおける管理経営

「自然維持タイプ」においては、自然の推移にゆだねることを原則とします。保護を図るべき森林生態系を構成する野生生物の生育・生息環境の向上に資するために必要な管理経営を行います。(病虫害の蔓延防止や学術研究等特定の場合を除き、伐採は行わない。)

【保護林】

- 原生的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護を目的としている国有林野。国有林野独自の制度として大正4年に保護林制度を発足させ、以降適切な保護・管理に努めている。
- 森林生態系や個体群の持続性に着目し、「森林生態系保護地域」、「生物群集保護林」、「希少個体群保護林」を設定。

【緑の回廊】

- 希少な野生生物の生育・生息地の拡大と相互交流を促すなど、生物多様性保全のため、既存の保護林と保護林を連結する「緑の回廊」を設定。(周囲の森林の取扱いを考慮して、必要に応じて自然維持タイプに設定。)



大佐飛山地生群物集保護林 (那珂川)



富士山六番ブナ希少個体群保護林 (富士)

【国立公園・国定公園・都県立自然公園】

- 我が国を代表する優れた自然の風景地を保護と利用の増進を図ることにより、国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的。
- 特別保護地区、第1種、第2種特別地域を自然維持タイプに指定。



富士箱根伊豆国立公園
(富士)



上信越高原国立公園
一ノ倉沢 (利根上流)

1 機能類型に応じた管理経営④



森林空間利用タイプにおける管理経営

「森林空間利用タイプ」においては、景観の向上や森林レクリエーションとしての利用を考慮した森林の整備を行い、必要に応じて遊歩道等の施設の整備を進めます。（主伐は複層伐や択伐が基本。人工林の有する美的景観を保持する目的等の理由があれば皆伐可能。）

【レクリエーションの森】

国民が気軽に森林や自然と触れ合える拠点。国土の保全、自然環境の保全等、公益的機能との調和を図りつつ、地方公共団体等と連携して、安全性の高い施設や森林景観等の整備、看板など各種情報手段を活用した情報共有に努める。

レクリエーションの森 設定状況

| 森林計画区 | 新計画 | | 特徴 |
|---------|-----|--------|-------------------|
| | 箇所数 | 面積(ha) | |
| 奥久慈 | 2 | 207 | 森林公園、体験の森 |
| 那珂川 | 15 | 4,464 | 那須連峰、八方の休養林、スキー場 |
| 利根上流 | 35 | 5,536 | 谷川岳、武尊山、スキー場 |
| 多摩 | 4 | 937 | 高尾山一帯の森林と登山道、附帯施設 |
| 上越 | 9 | 3,641 | 妙高、笹ヶ峰、スキー場 |
| 富士 | 32 | 1,770 | 富士山周辺の登山道や山小屋 |
| (参考)局合計 | 146 | 47,361 | |



武尊自然休養林（利根上流）
夏山、雪山両方で登山を楽しめる。



富士自然休養林（富士）
国内外からの登山者に利用されている。



菱ヶ岳スポーツ林（上越）
多くのスキーヤー・スノーボーダーに利用されている。



高尾山自然休養林（多摩）
都心に近い森林でありながら、動植物種の多様性が高く、多くの登山者が訪れている。

1 機能類型に応じた管理経営⑤



水源涵養タイプにおける管理経営

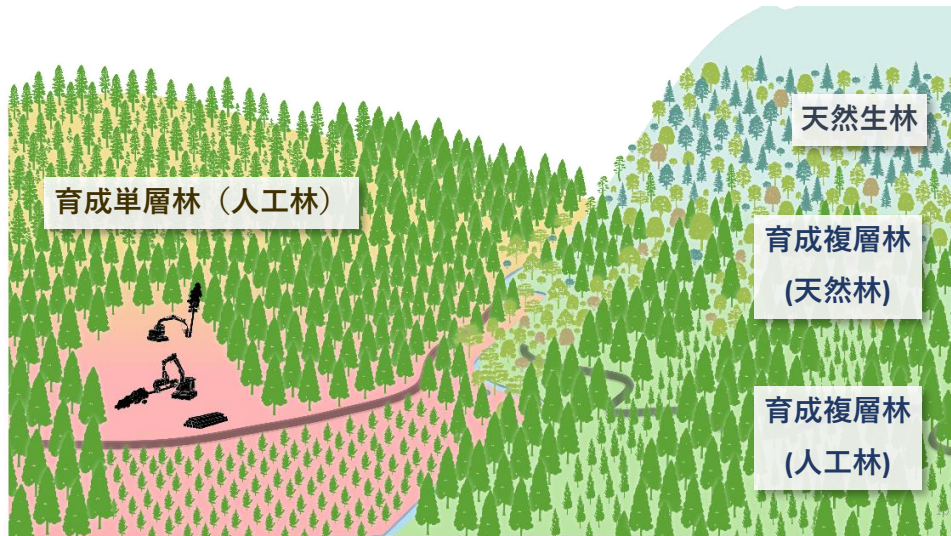
「水源涵養タイプ」については機能発揮に影響を及ぼさない範囲で森林資源の有効利用に配慮します。（主伐は立地条件に応じて、皆伐・複層伐・択伐の施業を選択。）

多様な森林づくりの推進

森林生態系に着目して公益的機能の向上に配慮し、天然更新の活用、長伐期化、複層林化、森林のモザイク的配置への誘導、針広混交林化を推進。

花粉発生源対策の推進

都県が設定する「スギ人工林伐採重点区域」のある市町村の国有林のうち、地理的条件の良いスギ林分を対象に、重点的に伐採、植替えを推進。



伐採計画面積に占める水源涵養タイプの数量 (ha)

| 森林計画区 | 伐採計画全体（うち水源涵養タイプ） | | | |
|-------|-------------------|-----------|----------|---------------|
| | 皆伐 | 複層伐 | 択伐 | 間伐 |
| 奥久慈 | 630 (630) | 466 (443) | 27 (27) | 5,021 (4,811) |
| 那珂川 | 854 (854) | 116 (0) | 134 (51) | 2,797 (1,994) |
| 利根上流 | 961 (961) | 387 (292) | 55 (54) | 3,619 (2,278) |
| 多摩 | 3 (3) | - | - | 309 (32) |
| 上越 | - | 61 (15) | - | 179 (9) |
| 富士 | 116 (112) | 55 (5) | - | 1,722 (717) |

| | | | | |
|------|---------------|-------------|-----------|----------------|
| 計画区計 | 2,564 (2,560) | 1,085 (754) | 216 (132) | 13,646 (9,843) |
| 主伐合計 | 3,865 (3,446) | | | - |



多様な森づくりの事例
約25haの林地に2.5ha以下の小面積皆伐箇所（複層伐）を4伐区設定し、複層林を造成。

伐採後の再造林には花粉発生源対策に配慮した苗木を積極的に進める。

2 令和7年度策定する森林計画区毎の主要事業量①

1. 伐採指定量

| 策定・ 変更別 | 森林計画区 | 主伐 (m ³) [面積(ha)] | | 間伐 (m ³) [面積(ha)] | | 計 (m ³) [面積(ha)] | |
|------------|----------------------|----------------------------------|-----------------------|----------------------------------|-----------------------|---------------------------------|--------------------|
| | | 現計画 | 新計画 | 現計画 | 新計画 | 現計画 | 新計画 |
| R7 策定 | 奥久慈 | 442,292 [1,416] | 259,917 [1,123] | 297,884 [3,637] | 519,269 [5,021] | 740,176 [5,053] | 779,186 [6,144] |
| | 那珂川 | 375,125 [1,077] | 360,022 [1,104] | 252,708 [2,800] | 255,874 [2,797] | 627,833 [3,877] | 615,896 [3,901] |
| | 利根上流 | 286,895 [1,052] | 333,336 [1,404] | 345,323 [4,565] | 338,568 [3,619] | 632,218 [5,617] | 671,904 [5,022] |
| | 多摩 | 4,193 [7] | 1,297 [3] | 31,003 [278] | 29,814 [309] | 35,196 [285] | 31,111 [311] |
| | 上越 | 7,375 [57] | 12,497 [61] | 19,363 [172] | 19,713 [179] | 26,738 [229] | 32,210 [240] |
| | 富士 | 69,673 [238] | 45,830 [171] | 132,666 [1,418] | 168,774 [1,722] | 202,339 [1,656] | 214,604 [1,893] |
| 合計 | 1,185,553 [3,847] | 1,012,899 [3,866] | 1,078,947 [12,870] | 1,332,012 [13,647] | 2,264,500 [16,717] | 2,344,911 [17,511] | |

(注) 四捨五入の関係で内訳計の数値が一致しない場合がある。

伐採指定量には、臨時伐採量は含まない。

資源の充実に伴い、伐採量は増加。他方、主伐量は、伐期を迎えた契約林の減少や、林地保全に配慮した施業を採用したことにより減少。

2 令和7年度策定する森林計画区毎の主要事業②

2.更新量及び保育量

| 策定・ 変更別 | 森林計画区 | 更新 (ha) | | 保育 (ha) | | | |
|------------|-------|---------|-------|---------|-------|-------|-----|
| | | | | 下刈り | | 除伐 | |
| | | 現計画 | 新計画 | 現計画 | 新計画 | 現計画 | 新計画 |
| R7 策定 | 奥久慈 | 1,208 | 1,320 | 3,079 | 3,206 | 406 | 425 |
| | 那珂川 | 1,000 | 966 | 2,629 | 2,570 | 253 | 363 |
| | 利根上流 | 982 | 1,053 | 2,394 | 2,321 | 138 | 281 |
| | 多摩 | 5 | 2 | 11 | 4 | — | — |
| | 上越 | 28 | 40 | 16 | 40 | 7 | 3 |
| | 富士 | 331 | 253 | 807 | 658 | 62 | 102 |
| 合計 | 3,554 | 3,634 | 8,936 | 8,799 | 866 | 1,174 | |

更新量については増加。現計画の後半で伐採した箇所が生じた伐採跡地を含めて計画。

2 令和7年度策定する森林計画区毎の主要事業③

3. 治山事業量

| 策定・変更別 | 森林計画区 | 治山施設 (箇所数) | | 地すべり防止 (箇所数) | | 防災林造成 (箇所数) | | 保安林整備 (ha) | |
|----------|-------|------------|-----|--------------|-----|-------------|-----|------------|-----|
| | | 現計画 | 新計画 | 現計画 | 新計画 | 現計画 | 新計画 | 現計画 | 新計画 |
| R7 策定 | 奥久慈 | 21 | 4 | — | — | — | — | — | — |
| | 那珂川 | 70 | 48 | 1 | 1 | — | — | 666 | 97 |
| | 利根上流 | 268 | 83 | 2 | 1 | 15 | — | — | — |
| | 多摩 | 19 | 2 | — | — | — | — | — | — |
| | 上越 | 43 | 8 | 1 | — | — | — | 40 | 82 |
| | 富士 | 48 | 14 | — | — | — | — | — | — |
| 合計 | | 469 | 159 | 4 | 2 | 15 | — | 706 | 179 |

(注) 箇所数は今計画から工種ごとに単位流域を1箇所としたことから数が減っている。

治山施設は今期に工事を見込む箇所、林道開設については効率的な施業に際して路網が必要となる箇所を計画。

4. 林道の開設及び改良

| 策定・変更別 | 森林計画区 | 新設 (m) | | 改良 (m) | |
|----------|-------|---------|---------|--------|--------|
| | | 現計画 | 新計画 | 現計画 | 新計画 |
| R7 策定 | 奥久慈 | 138,200 | 12,430 | 9,500 | 11,500 |
| | 那珂川 | 93,380 | 90,890 | 10,710 | 10,310 |
| | 利根上流 | 46,020 | 78,777 | 11,065 | 11,436 |
| | 多摩 | — | — | 580 | 510 |
| | 上越 | 2,000 | — | 1,200 | 1,100 |
| | 富士 | 29,640 | 27,480 | 1,070 | 2,115 |
| 合計 | | 309,240 | 209,577 | 34,125 | 36,971 |

3 国有林の維持及び保存①



林野火災防止等の森林保全管理

林野火災注意報・警報の発令状況に留意しつつ、国有林野保護監視員、地方公共団体、地元の消防団及び住民等と連携を密にして、森林の巡視を行い、事業体等に対して注意喚起を行う等、林野火災の防止に努めます。



横断幕により入林者に山火事予防を注意喚起（利根上流）



日々の業務に取り組みながら、巡視を実施。

森林病虫害の駆除又はそのまん延の防止

松くい虫被害については、薬剤の予防散布による被害の防止等、ナラ枯れ被害について発生状況等について民有林関係者と情報共有を行い、民有林と連携した被害対策を行います。

【マツ枯れに対する取組】

希少個体群保護林 那須街道アカマツ遺伝資源保護林におけるマツノマダラカミキリの防除のための薬剤の地上散布や、樹幹注入の実施状況。（那珂川）



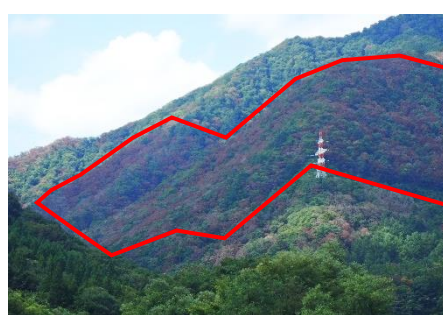
薬剤の地上散布



樹幹注入作業

【ナラ枯れに対する取組】

みなかみ町、群馬県林業試験場、利根沼田環境森林事務所と連携したナラ枯れ被害対策。（利根上流）



湯檜曾地区のナラ枯れ発生箇所



おとり丸太による誘因

3 国有林の維持及び保存②



野生動物等による被害に関する事項

シカ対策として、センサーカメラによる生息状況調査や巡視による現地調査等を実施し、剥皮等の被害が発生している地域において、防護柵等を設置するとともに、捕獲を推進します。

クマ対策として、剥皮等の被害が発生している地域については巡視を強化し、被害発生箇所の分布状況の把握に努め、剥皮防止対策を講ずるとともに、地方公共団体など関係機関と被害の分布状況や捕獲等の情報を共有し、効果的な被害対策に努めます。

【生息状況を把握するための新たな取組（瞬間サンプリング法）】

複数のカメラで一定間隔で撮影し、撮影頭数・面積から現時点の局所的な密度を推計。



カメラとその撮影範囲



撮影された写真

【ニホンジカの捕獲】

委託による捕獲のほか、県が策定する鳥獣保護管理事業計画に基づき、国有林野職員が直営捕獲を実施。



捕獲したニホンジカの電流による止め刺しの様子（利根上流）



コルゲートパイプを活用した「捕獲個体残渣（どんさ）減容化処理容器」（富士）

【防護対策】

ニホンジカやツキノワグマからの植栽木への被害を防ぐため、被害防除資材の設置等を実施。

設置に当たっては、資材・設置コストの削減に努める。



軽量金網柵を設置した様子（富士）



剥皮防止資材（富士）

3 国有林の維持及び保存③



生物多様性の保全（赤谷の森管理経営計画書）

【赤谷の森管理経営の基本方針】

- 群馬県みなかみ町新治地区に所在する「赤谷の森」では、地域住民で組織された「赤谷プロジェクト地域協議会」、「公益財団法人日本自然保護協会」及び「林野庁関東森林管理局」の3者が協働。生物多様性の復元と持続的な地域づくりを進めるための様々な活動を実施。
- 赤谷プロジェクト中核3者で合意した「赤谷の森・基本構想2025」を踏まえ利根上流森林計画区の地域管理経営計画書の一部（別冊）として「赤谷の森管理経営計画書」を作成。



イヌワシ（撮影者：上田大志）



狩場試験地から搬出された木材で制作された机（上毛高原駅イヌワシストア）

【生物多様性の復元と資源の循環利用の両立】

- 「赤谷の森」では、本来生育していた潜在自然植生に復元させることが目標。
- イヌワシ狩場創出試験等、生物多様性の保全・復元と資源の循環的な利用との両立を図っていくための知見を集積し、その手法の確立に向け取り組む。
- 具体的に、新計画では、過去に試験的に伐採したエリアにおける複層伐、クマタカの生息環境に配慮した間伐施業、ニホンジカの低密度管理等に取り組む。

〈生物多様性の保全・復元を図る森林施業〉



人工林（カラマツ）を伐採



伐採から15年後

- 人工林の伐採後により自然林を復元
- 伐採によりイヌワシの狩場を創出

4 林産物の供給



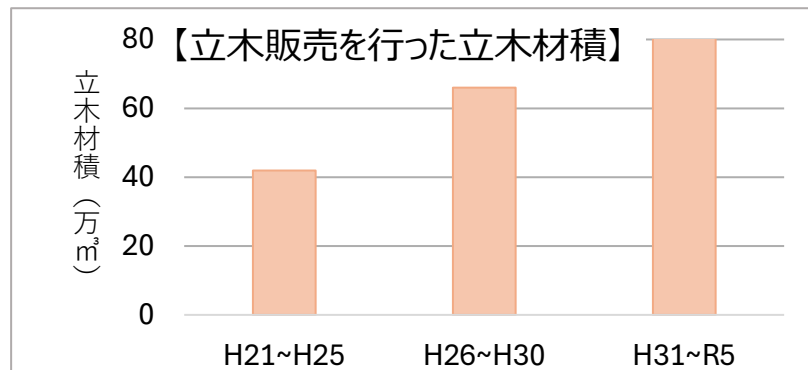
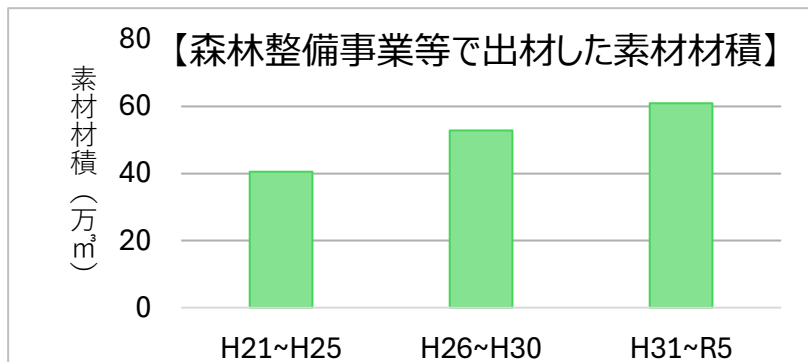
木材の安定的な取引関係の確立

機能類型区分に応じた適切な施業の結果、得られる木材については地域における木材の安定供給体制の構築が図られるよう需給動向を把握しつつ安定供給に努めます。

需要者と協定を締結して原木を山元から需要先へ供給する「システム販売」を推進し、地域材の計画的・安定的な供給体制の構築に寄与します。

端材等の林地残材については、木質バイオマス発電所の稼働等により燃料としての利用が拡大していることから、木材のカスケード利用に向け、より一層取り組みます。

【策定する6森林計画区の伐採量の推移（実績）】



木材供給量は増加傾向にあり、立木販売や森林整備事業を通して木材を安定的に供給。

【需要拡大構想の募集（新たな立木のシステム販売）】

主伐後に造林の実施を協定に含む立木のシステム販売について、令和6年度に那珂川森林計画区、利根上流森林計画区において需要拡大構想の応募があり、令和8年度の協定締結にむけて取り組む。



<基本となる協定内容>

協定期間：8年
事業面積：10～15ha/年
丸太材積：2,500～3,000m³/年

※搬出期限（3年）、造林事業（地拵え、植付）を含めた8年間は協定期間の前提に設定されている

5 国民参加の森林づくり



自主的な森林整備活動へのフィールドの提供や必要な技術支援、情報の提供などを通じ、国民の森林へのふれあいの場の提供に努めます。
学校、地方公共団体、企業、ボランティア、NPO、地域の森林所有者や森林組合等の民有林関係者等、多様な主体と連携した森林環境教育を推進します。

【社会貢献の森「まなびの森」(富士)】



地元の小中学生を対象とした
森林体験教室の様子

【高尾森林ふれあい推進センターのイベント(多摩)】



森林カレッジ
森林ボランティアの養成の様子

6 林業技術の開発、指導及び普及



「新しい林業」の実現に向けて、民有林への普及を念頭に置き、林業の省力化や低コスト化等に資する技術開発・実証を推進します。
成果については現地検討会等を通じて、民有林関係者等への普及・定着に取り組みます。

【低コスト造林についての現地検討会(奥久慈)】



下列の省略化に向けた、特定苗木の植栽と防草シートを活用した取組についての意見交換

【新潟焼山の国有林における防災対策現地検討会(上越)】

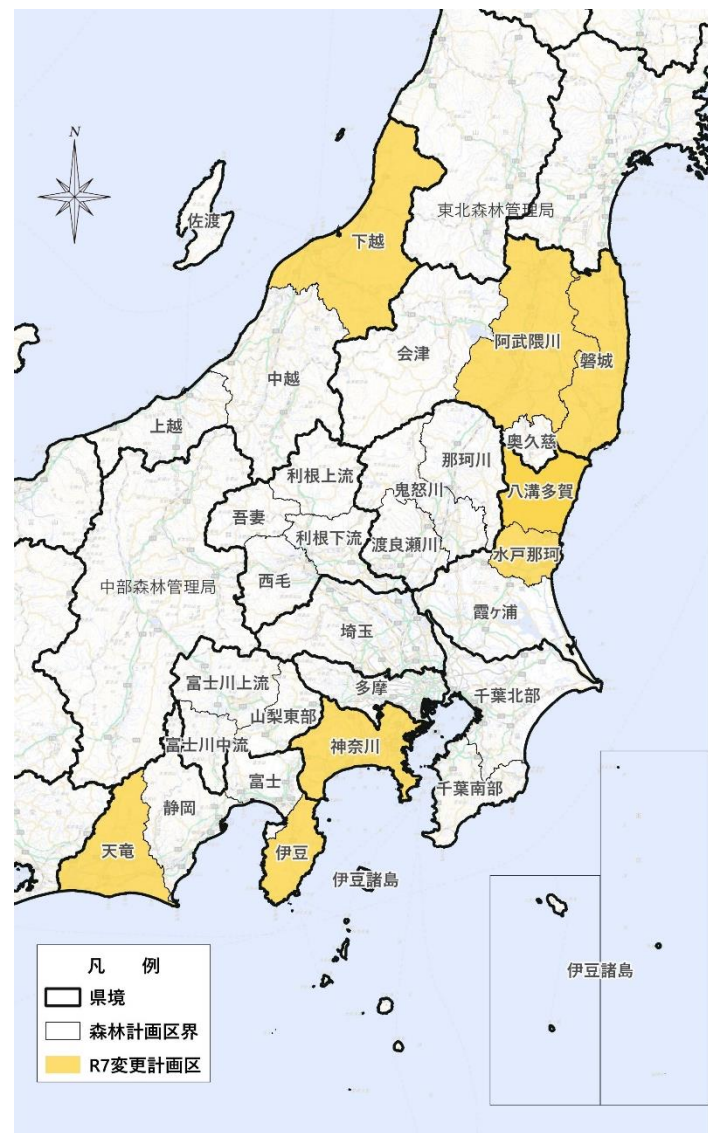


土石流監視施設のシステム再構築に併せ、現在の施設の状況と新たなシステムの意見交換

Ⅲ 令和7年度に変更する地域管理経営計画等の概要

令和7年度変更する森林計画の内容

| 変更する森林計画区 | | 変更する項目 |
|-----------|------|--------------------------------|
| 福島県 | 阿武隈川 | ・レクリエーションの森（廃止） |
| | 磐城 | ・伐採総量（増） |
| 茨城県 | 八溝多賀 | ・伐採・更新総量（増） ・治山事業（追加） |
| | 水戸那珂 | ・伐採・更新総量（増） |
| 神奈川県 | 神奈川 | ・治山事業（追加） ・国民参加の森づくり（新規・解消） |
| 新潟県 | 下越 | ・治山事業（追加） |
| 静岡県 | 伊豆 | ・レクリエーションの森（追加） |
| | 天竜 | ・伐採・更新総量（増） ・施業指標林、試験地等（追加） |



(※) 図は国土地理院タイルを加工して作成 (<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)